

編集後記

本稿を執筆している時点で、外は長雨、毎日じめじめした梅雨が続いています。梅雨が明ければ昨年以上に暑い夏、そして暦の上では秋であっても残暑が続く、その分短くなった秋が過ぎると急に寒い冬が訪れ、やがては大晦日とあつという間に1年が終わってしまいます。以前は秋になれば学会シーズン、と言われていましたが、最近では夏、冬とも満遍なく学会が開催されるため、以前ほど学会で季節を感じることもなくなりました。

昨今デジタルトランスフォーメーションによる効率化が医療の現場においても叫ばれていますが、インターネットやEメールの発達、AIなど発想支援ツールの登場、交通手段の向上による移動時間の短縮、Web会議の普及など、利便性が増した一方で、逆に多くの仕事を受けられる環境となり、現代人はますます忙しくなっているように思えます。NHKの番組「チコちゃんに叱られる！」で「大人になってあつという間に1年が過ぎるのはなぜ？」という質問の答えは「人生にトキメキがなくなったから」でしたが、私たち医師の場合は、新しい知識や技術に触れたり、様々な人との出会いや感動があるため、何某かのトキメキはそれなりにあります。しかしながら抱え込んだ大量の仕事の処理に追われているうちに、いつの間にか月日が過ぎ去っていく、そういった感覚が以前より増している気がいたします。加えて、社会的変化により特に男性は、働き方改革によって早く退職しても家庭において家事や子供の送り迎えなど役割分担が求められ、そ

の一方で健康診断では定期的に運動をする時間を確保することを求められたりもします。皮肉なことに就業時間を減らすための勤務時間の管理に余分な時間を費やすなど様々な矛盾点が顕在化していますが、そういった中でどうやって時間を捻出するのか、現代ではまさにタイムマネジメントこそが重要であり、時間を制するものが人生を制すると言っても過言ではありません。

このような現代社会に生きる医師の懸念点の一つは、なかなかまとまった時間をとることが難しいため、長期的な視野で物事を深く掘り下げて考える機会が失われがちであることです。特に、臨床における難治性疾患に対する新しいアプローチは、失敗を含めた自分の経験を基にして、多くの論文を読み解き、学会で議論を重ね、その適応と術後成績を慎重に検討しながら完成されていくものであり、何よりもその研究開発に没頭する時間が必要です。本特集で紹介された広範囲腱板断裂に対する様々な術式は、そういった試行錯誤の末に完成したものであり、各先生の情熱の賜物といえます。なんとか人工関節を用いずに、低侵襲手術で広範囲腱板断裂の患者を治したい、その強い意志こそが新しい治療を生み出していくのであり、その姿勢においては先人も現代の医師も変わらないのかもしれませんが。今回ご執筆いただいた先生方に改めて感謝申し上げます。

(谷口 昇)

「整形・災害外科」第67巻 第9号 (8月号) 2024年8月1日発行 (毎月1回1日発行) 定価 2,970 円 (本体 2,700 円+税 10%) 年間購読料金 定価 45,980 円 (本体 41,800 円+税 10%) 〔年間13冊 (臨時増刊号、増大号を含む) の誌代〕 〔年間予約購読者に限り送料無料〕	発行所 金原出版株式会社 発行者 福村直樹 〒113-0034 東京都文京区湯島2-31-14 TEL 03 (3811) 7165 [編集室直通] TEL 03 (3811) 7184 [営業部直通] FAX 03 (3813) 0288 www.kanehara-shuppan.co.jp 振替口座 00130-1-191269 印刷所 三報社印刷株式会社 広告申込先 (株) 文京メディカル TEL 03(3817)8036
--	--

- ・本誌に掲載する著作物の複製権、翻訳・翻案権、上映権、譲渡権、公衆送信権 (送信可能化権を含む)、貸与権、二次的著作物への利用に関する原著者の権利は、金原出版株式会社が保有します。
- ・**JCOPY** <出版者著作権管理機構 委託出版物>
本誌の無断複製は著作権法上での例外を除き禁じられています。複製される場合は、そのつど事前に、出版者著作権管理機構 (電話 03-5244-5088, FAX 03-5244-5089, e-mail: info@jcopy.or.jp) の許諾を得てください。